

Ⅲ 保健師の思考過程を Plan/Do/Check/Action で書く

どのような記録様式を使うとしても記録様式の使い方、書き方にこだわってしまうとマニュアル的に方法の理解を優先してしまい、できあがった記録がしっくりこないということがある。

書き方のマスターがゴールではない。保健師記録として重要なのは、記録様式ではなく、保健師活動の評価や実践の根拠を示すために、何を伝え、何を記すかを考え、記録することである。

しかし、一定の書き方がないと、どう書いていいかわからないのも現実であり、ここでは、書き方の枠組みとして、Plan/Do/Check/Action で書くことを提案することとする—Plan/Do/Check/Action は、思考プロセスを大づかみに表したものである。

表 6 記録の記載内容

思考過程	記載内容	ポイント
Plan	① 目的を明確にする ② 情報を整理して記載する ③ 事実の確認をし、問題の構造を分析し明確にする ④ 保健師のアセスメントや判断を記載する	実践に関連する情報を目的に沿って意図的に記述する 情報を吟味し、集約する
Do	⑤ 保健師の支援内容、すなわち、情報提供内容、指導・助言内容、他機関への紹介等を記載する ⑥ 保健師の行った支援に対する対象者の反応（同意や拒否）、決定したことを記載する ⑦ 支援計画を書く	実践したことを記述する
Check	⑧ 事業を実施評価、結果評価の両面から評価する	実践の評価を記載する
Action	⑨ 課題について、地域全体をアセスメントする ⑩ 改善点を考え、アイデアを出す	改善方法を考える

文献 1) P21 より一部改変

表 7 記録の 5 段階のステップ

段階	ステップ	内容
I	書き始める前に	記録に記す内容を明らかにする
II	Plan	主張を根拠づける情報を客観的に記す
III	Do	保健師の実践を記す 実践とは、情報提供、助言・指導、他機関連絡など
IV	Check	保健師の実践に対する対象者の同意や反応を記す 実施評価、結果評価をする
V	Action	記録全体を評価し、改善点を考える

文献 1) P30 より一部改変